

送受信メニュー ～個別通信時で使用する機能です～

待ち受け画面で“機能” ボタンを約 2 秒以上押すと、相手と交信可能かどうかの確認、発着信履歴、メッセージの確認などの操作をおこなうことができます。

注意

工場出荷では、UC 通信に設定されていますので、機能ボタンの長押し（約2秒以上）は無効になっています。

項目	機能
アンサーバック	待ち受け画面に表示されている相手局と、交信できる状態かを確認することができます（セットモード F12 アンサーバック設定 ON の場合）。
着信履歴	着信した信号の発信元を、新しい順に表示します（最大 10 件）。
発信履歴	発信した信号の発信先を、新しい順に表示します（最大 10 件）。
メッセージ送信	あらかじめ登録されたメッセージ（10 件）を送信することができます。
メッセージ確認	受信したメッセージを、新しい順に表示します（最大 10 件）。

アンサーバック

画面に表示された個別表示の相手局に対し、交信できる状態かを確認することができます。

注意

この機能は ALL とグループでは利用できません。

- ① 待ち受け画面で“機能” ボタンを 2 秒以上押します。
- ② “アンサーバック” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。

セットモード F12 アンサーバックの設定が OFF の場合は無効になり、送信状態になりません。

- ③ 送信状態になり、相手局に対して「問い合わせ」の信号を送出して、その後結果を表示します。

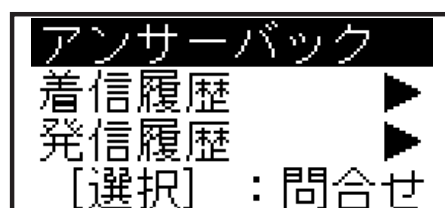
応有：相手局と交信可能な状態です。

応無：「相手局の電源が入っていない」、「距離が離れすぎている」などの原因で、相手局と交信できない状態です。

補足

相手局が VXD-10 の場合は、この機能に対応していないため、交信できる状態であっても“応無”となります。

- ④ “戻る” ボタンを押します。
結果を表示させる前の画面に戻ります。



問い合わせの結果

着信履歴

これまでに着信した信号の発信元を、新しい順に最大 10 件まで表示することができ、PTT ボタン（送信ボタン）を押すと、表示されている ID の相手呼び出すことができます。

- ① 待ち受け画面で“機能” ボタンを 2 秒以上押します。
- ② ▲ / ▼ ボタンを押して“着信履歴”を選択し、“選択” ボタンを押します。
- ③ 着信履歴が表示されます。

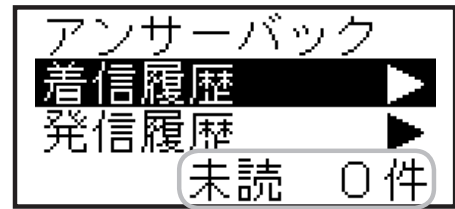
補足

- ▲ / ▼ ボタンを押すと、着信履歴を切り換えることができます。
- ► ボタンを押した後に ◀ ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます（► ボタンでキャンセル）。
- PTT ボタンを押すと、選択されている ID の相手呼び出すことができます。

- ④ “戻る” ボタンを押します。

着信履歴を表示させる前の画面に戻ります。

電源スイッチを切ると履歴はクリアされます。



未読件数

発信履歴

これまでに発信した信号の発信先を、新しい順に最大 10 件まで表示することができ、PTT ボタン（送信ボタン）を押すと、表示されている ID の相手呼び出すことができます。

- ① 待ち受け画面で“機能” ボタンを 2 秒以上押します。
- ② ▲ / ▼ ボタンを押して“発信履歴”を選択し、“選択” ボタンを押します。
- ③ 発信履歴が表示されます。

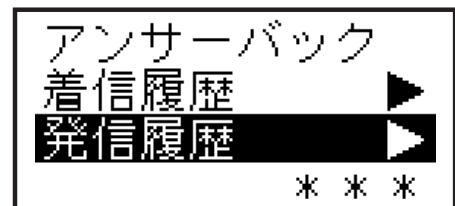
補足

- ▲ / ▼ ボタンを押すと、発信履歴を切り換えることができます。
- ► ボタンを押した後に ◀ ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます（► ボタンでキャンセル）。
- PTT ボタンを押すと、選択されている ID の相手呼び出すことができます。

- ④ “戻る” ボタンを押します。

発信履歴を表示させる前の画面に戻ります。

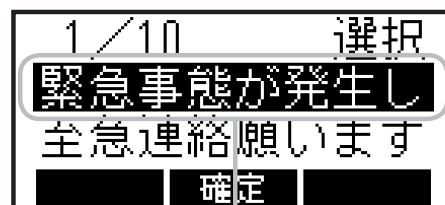
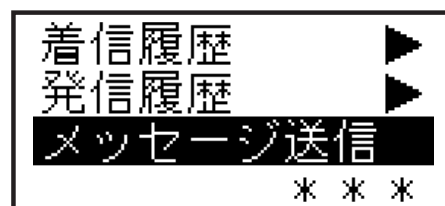
電源スイッチを切ると履歴はクリアされます。



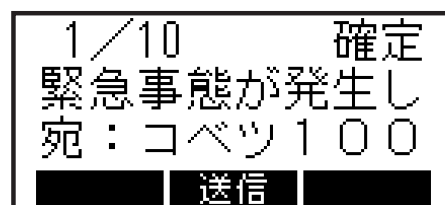
メッセージ送信

あらかじめ登録されたメッセージ(10件)を送信することができます。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを2秒以上押します。
- ② ▲/▼ボタンを押して“メッセージ送信”を選択し、“選択”ボタンを押します。
- ③ ▲/▼ボタンを押して送信したいメッセージを選択し、“選択”ボタンを押します(下表参照)。
- ④ 再度“選択”ボタンを押すと、選択したメッセージを送信します。
メールマークが点滅します。
- ⑤ 個別宛先で送信した場合に限り、相手局に正しくメッセージが届いたかどうかの結果を表示します。
応有：正しくメッセージが届いた場合。
応無：正しくメッセージが送られなかった場合。
- ⑥ “戻る”ボタンを押します。
メッセージを送る前の画面に戻ります。



メッセージを選択



メッセージを受信すると、ディスプレイに“☑”マークが点滅し、同時にメッセージを表示(スクロール)します。

メッセージを確認後“戻る”ボタンを押すと、メッセージを受信する前の状態に戻ります。

注意

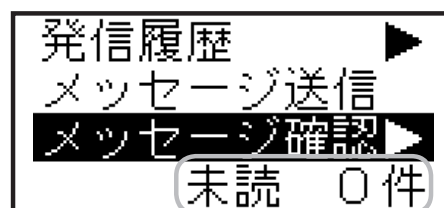
VXD-10 にメッセージを送ることはできません。

メッセージ一覧表			
番号	メッセージ	番号	メッセージ
1	緊急事態が発生しました	6	集合してください
2	至急連絡願います	7	開始しました
3	運転中です	8	完了しました
4	出発しました	9	作業中です
5	到着しました	10	待機中です

メッセージ確認

これまでに受信したメッセージを、新しい順に最大 10 件まで表示することができます。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを2秒以上押します。
- ② ▲ / ▼ ボタンを押して“メッセージ確認”を選択し、“選択”ボタンを押します。
- ③ メッセージの着信履歴が表示されます。



未読件数

補足

- ▲ / ▼ ボタンを押すと、着信履歴を切り換えることができます。
- ► ボタンでを押した後に ◀ ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます (► ボタンでキャンセル)。

- ④ “戻る” ボタンを押します。

着信履歴を表示させる前の画面に戻ります。

電源を切ると履歴はクリアされます。

通信の機能設定 ～コールモード～

各種 ID、通信方式など、通信時に使用する情報や機能の設定（11 項目）をおこなうことができます。

項目	初期値	設定値	機能
C01 通信方式	UC 通信	UC 通信 / 個別通信	通信方式の選択
C02 UC モード	CH 共通	CH 共通 / CH 毎	ユーザーコードの適用チャンネル設定
C03 UC ベル	0 回	0 回～ 3 回	同一 UC 呼び出し電子音の回数設定
C04 自局 ID	001	001 ～ 200	自局 ID の設定
C05 グループ ID	01	01 ～ 30	グループ ID の設定
C06 個別ベル	1 回	0/1/2/3/4/5 回	個別呼び出し時の電子音の回数設定
C07 グループベル	0 回	0/1/2/3 回	グループ / 一斉呼び出し時の電子音の回数設定
C08 緊急宛先	一斉	一斉 / 個別	緊急信号を送信する際の宛先設定
C09 緊急個別 ID	***	001 ～ 200	緊急を知らせたい相手局の ID 設定
C10 緊急応答宛先	一斉応答	一斉応答 / 緊急応答 / 個別応答	個別通信時の緊急着信時応答宛先 ID の選択
C11 秘話モード	CH 共通	CH 共通 / CH 毎	秘話コードの適用チャンネル設定

コールモードの具体的な操作方法は、42 ページ以降を参照してください。

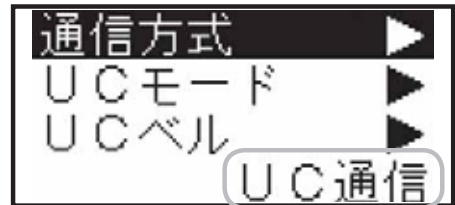
補足

- C 09 緊急個別 ID は、C 08 緊急宛先を「個別」に設定しないと登録できません。
- セットモードの詳細は、49 ページ以降を参照してください。

C01 通信方式

UC 通信と個別通信を切り換えることができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② ▲ / ▼ ボタンを押して“コールモード”に設定し、“選択” ボタンを押します。
- ③ “通信方式” が選択されているか確認し、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の通信方式を選択します。
UC 通信 : UC 通信方式で運用するとき。
個別通信 : 個別通信方式で運用するとき。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の通信方式



通信方式

C02 UC モード ～ UC 通信で使用する設定です～

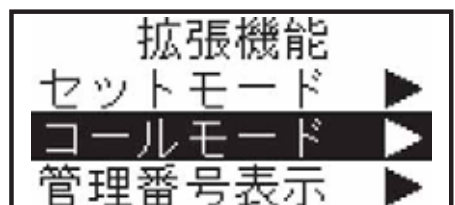
UC (ユーザーコード) を設定する際、チャンネルごとに設定するか、全てのチャンネルのユーザーコードを共通にするかを設定します。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② ▲ / ▼ ボタンを押して“コールモード”に設定し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“UCモード” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の設定を選択します。

CH 共通 : 設定したユーザーコードが全てのチャンネルに適用されます。

CH 毎 : チャンネルごとにユーザーコードを設定することができます。

- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

C03 UC ベル ～ UC 通信で使用する設定です～

UC 通信で運用中、同一 UC の他局から呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

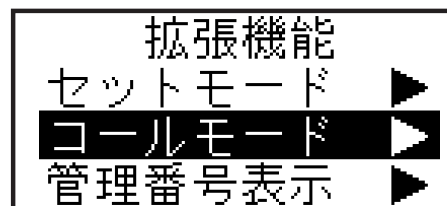
- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② ▲ / ▼ ボタンを押して“コールモード”に設定し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“UC ベル” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の回数を選択します。

設定できる回数は“0 回” ～ “3 回” です。

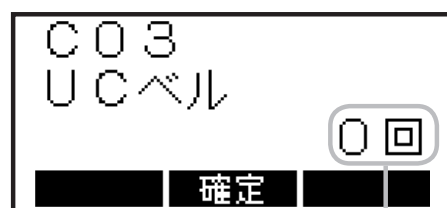
補足

UC ベルは、5 秒以内の繰り返し呼び出しの場合、呼び出し音はなりません。

- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数



電子音が鳴る回数

C04 自局 ID ～個別通信で使用する設定です～

トランシーバーに設定されている自局の ID（自局の個別番号）を変更することができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② ▲ / ▼ ボタンを押して“コールモード”に設定し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“自局 ID” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の数字を選択します。
設定できる ID は“001”～“200”です。
◀ / ▶ ボタンを押すと桁の移動ができます。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると変更は終了です。



現在の自局 ID

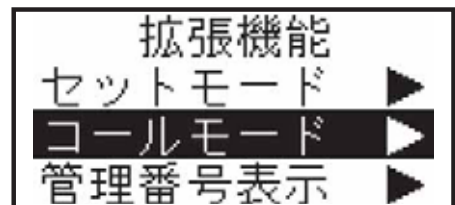


自局 ID

C05 グループ ID ～個別通信で使用する設定です～

トランシーバーに設定されているグループ ID を変更することができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② ▲ / ▼ ボタンを押して“コールモード”に設定し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“グループ ID” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の ID を選択します。
設定できる ID は“01”～“30”です。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると変更は終了です。



現在のグループ ID

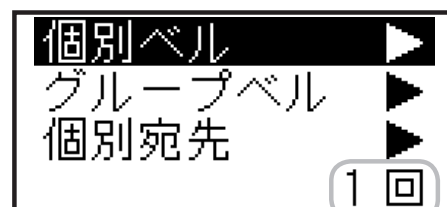
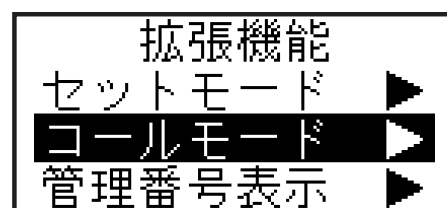


グループ ID

C06 個別ベル ～個別通信で使用する設定です～

個別呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② ▲ / ▼ ボタンを押して“コールモード”に設定し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“個別ベル” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の回数を選択します。
設定できる回数は“0 回” ～ “5 回” です。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数

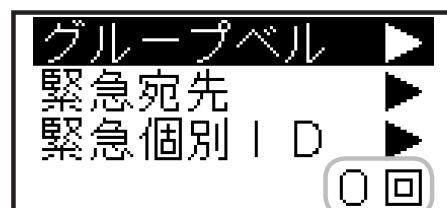
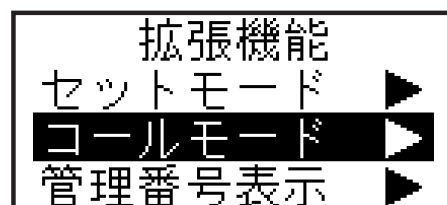


電子音が鳴る回数

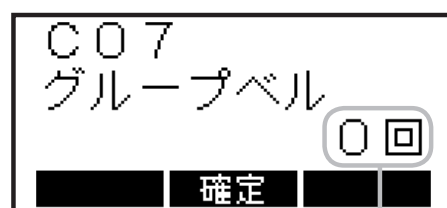
C07 グループベル ～個別通信で使用する設定です～

グループ / 一斉呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② ▲ / ▼ ボタンを押して“コールモード”に設定し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“グループベル” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の回数を選択します。
設定できる回数は“0 回” ～ “3 回” です。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数



電子音が鳴る回数

C08 緊急宛先 ～個別通信で使用する設定です～

緊急信号を送信する際の宛先を設定します。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② ▲ / ▼ ボタンを押して“コールモード”に設定し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“緊急宛先” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の宛先を選択します。

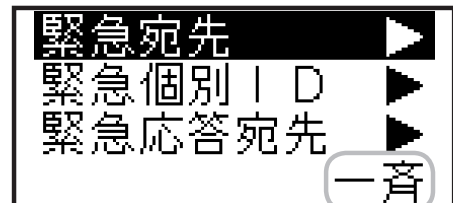
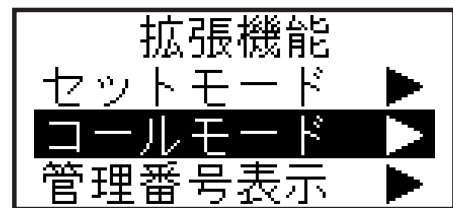
一斉：同一ユーザーの全ての局に対し、一斉に緊急を知らせることができます。

個別：特定の局にだけ、緊急を知らせることができます。

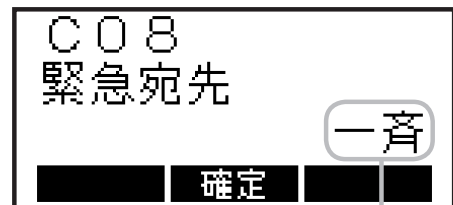
補足

- 本設定は個別通信時のみ動作します。
- 本設定はF05 緊急モードを「BP+T」「S」「T」に設定した時に動作する機能です。
- 「個別」に設定した場合、緊急を知らせたい相手局の個別IDは C09 緊急個別ID で設定します。
- 「個別」に設定した場合、緊急宛先を「一斉」に設定したトランシーバーから送出された緊急信号は受信できません。

- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

C09 緊急個別 ID ～個別通信で使用する設定です～

緊急宛先を個別に設定した場合の、緊急を知らせたい相手局の個別 ID を設定します。

※：コールモード“C08 緊急宛先”を“個別”に設定してください(46 ページ参照)。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② ▲ / ▼ ボタンを押して“コールモード”に設定し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“緊急個別 ID” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の個別 ID を設定します。

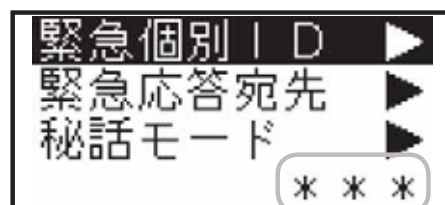
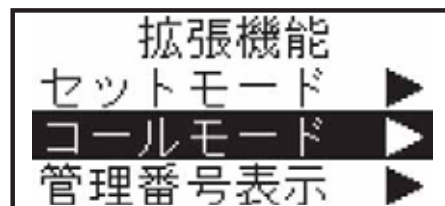
設定できる ID は“001”～“200”です。

◀/▶ ボタンを押すと桁の移動ができます。

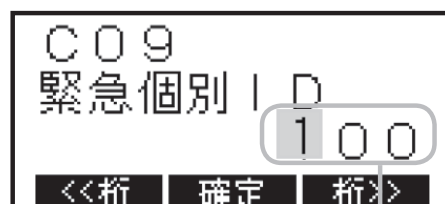
補足

- 自局 ID は設定できません。
- C 08 緊急宛先を個別に設定しないと緊急個別 ID は登録できません。

- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の緊急個別 ID



緊急個別 ID

C10 緊急応答宛先 ～個別通信で使用する設定です～

緊急着信が発生した場合の応答宛先として切替える ID を選択します。

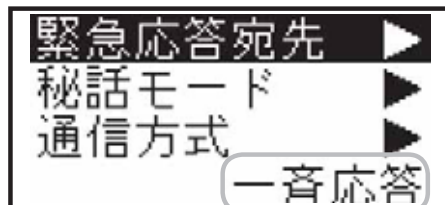
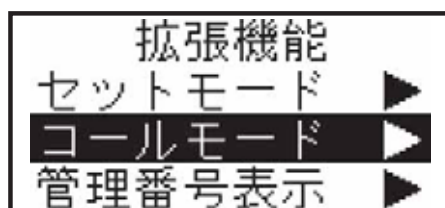
- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② ▲ / ▼ ボタンを押して“コールモード”に設定し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“緊急応答宛先” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の応答宛先を選択します。

個別応答：宛先を相手局の「個別 ID」に切替えます。

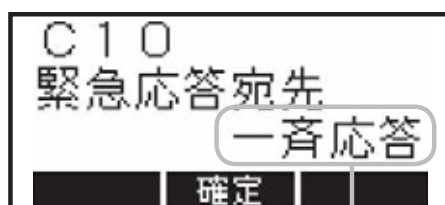
一斉応答：宛先を「一斉」に切替えます。

緊急応答：C08 緊急宛先で設定している緊急宛先に切替え、緊急信号を送出します。

- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の緊急応答宛先



緊急応答宛先

C11 秘話モード

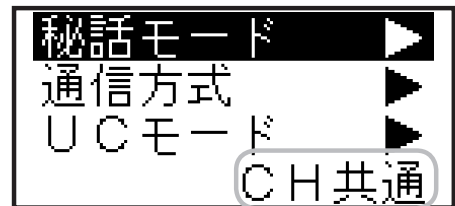
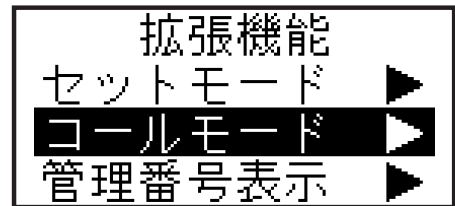
秘話通信機能の秘話コードを設定する際、チャンネルごとに設定するか、全てのチャンネルの秘話コードを共通にするかを設定します。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② ▲ / ▼ ボタンを押して“コールモード”に設定し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“秘話モード” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の通信方式を選択します。

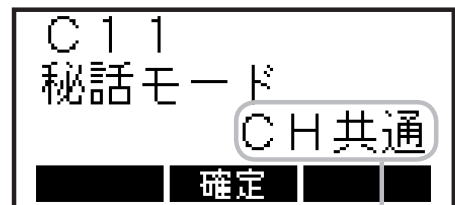
CH 共通：設定した秘話コードが、全てのチャンネルに適用されます。

CH 毎：チャンネルごとに秘話コードを設定することができます。

- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

トランシーバーの詳細設定 ～セットモード～

本機に内蔵された、各機能の設定（22 項目）をおこなうことができます。

項目	初期値	設定値	機能
F01 ビープレベル	レベル 08	レベル 00 ～レベル 15	操作音（ビープ音）の音量設定
F02 外部マイク	0 dB	+10/+6/+3/0 -3/-6/-12/-18	外部マイクの感度設定
F03 内部マイク	0 dB	+10/+6/+3/0 -3/-6/-12/-18	本体内部マイクの感度設定
F04 キーロック	前面	前面 / 上部 / 全て / 前面+上部 /PTT	ロック範囲の設定
F05 緊急モード	OFF	OFF/BP+T/S/T/BP	緊急モードの動作設定
F06 TXビープ	OFF	OFF/ON	送信開始時の電子音設定
F07 RXビープ	OFF	OFF/ON	相手局の送信終了音の設定
F08 ノイズキャンセル	ON	ON/OFF	ノイズキャンセル機能の設定
F09 送信出力	High	High/Low/ 受信専用	送信出力の設定
F10 弱電界アラーム	OFF	OFF/ON	受信信号が極端に弱い場合に鳴るアラームの設定
F11 不在着信ベル	OFF	OFF/ 5秒毎×2/ 2秒毎 / 1分毎 / 連続	個別着信時に応答しなかった場合に鳴るベルの設定
F12 アンサーバック	OFF	OFF/ON	相手局に電波が届いているかを確認する機能の設定
F13 電池残量警報	ON	ON/OFF	ビープ音でバッテリーの残量が少なくなったことを知らせる機能の設定
F14 コントラスト	レベル 08	レベル 00 ～レベル 15	LCD コントラスト調整
F15 上空 CH	OFF	OFF/ モニタ	上空用チャンネルモニターの設定
F16 スキャン	OFF	OFF/ON	スキャン機能の設定
F17 スキャン CH	Call	CH01 ～ CH30	スキャンチャンネル番号の設定
F18 スキャン PTT	通話 CH	通話 CH/ スキャン CH	スキャン機能の動作中の PTT 動作設定
F19 スキャン RX	ON	ON/OFF	スキャン機能の着信後のスキャン再開設定
F20 P ライト	OFF	OFF/ 常時点灯 / 高速点滅 / 低速点滅	ポジションライト機能の設定
F21 P ライトカラー	ALL	ALL/ 青 / 緑 / 水色 / 赤 / 紫 / 黄 / 白 / 青（高輝度）/ 緑（高輝度）/ 水色（高輝度）/ 赤（高輝度）/ 紫（高輝度）/ 黄（高輝度）/ 白（高輝度）	ポジションライトの点灯色の設定
F22 設定リセット	—	—	拡張機能の設定を初期値（ご購入時の状態）に戻します

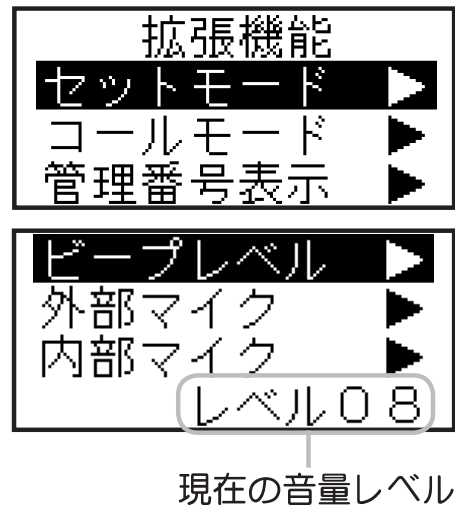
補足

セットモードの基本的な操作方法は、50 ページ以降を参照してください。

F01 ビープレベル

ボタンやスイッチを押したときに鳴る確認音の、音量を設定することができます。

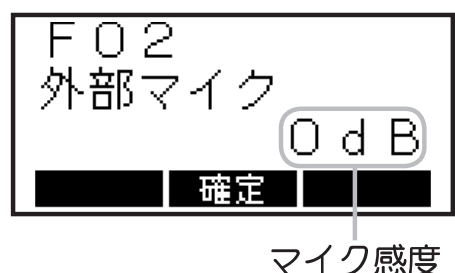
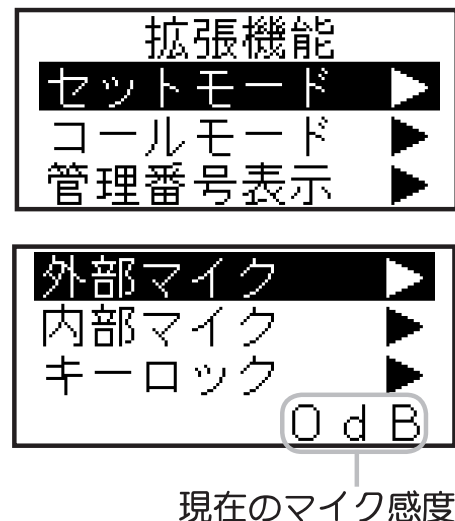
- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ “ビープレベル” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の音量を選択します。
設定できる音量レベルは“00”～“15”です。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



F02 外部マイク

外部マイク□ホンのマイク感度を設定することができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“外部マイク” に設定し、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の感度を選択します。
マイク感度は、下記の8段階から選択することができます。
(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0”
↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



F03 内部マイク

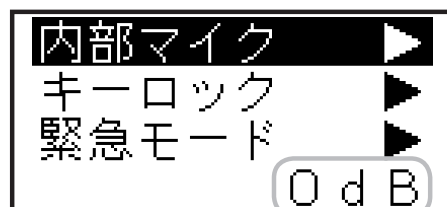
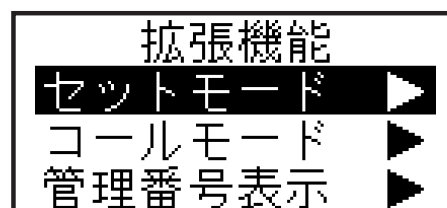
トランシーバー本体に内蔵してあるマイクのマイク感度を設定することができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“内部マイク” に設定し、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の感度を選択します。

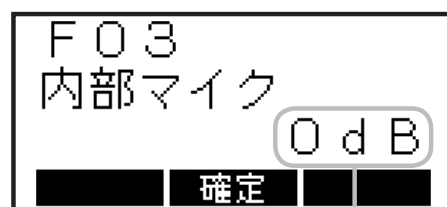
マイク感度は、下記の 8 段階から選択することができます。

(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0”
↪ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)

- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在のマイク感度



マイク感度

F04 キーロック

ロック機能を動作させたときの、ロックさせる条件を設定することができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“キーロック” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望のロック範囲を選択します。

前面 : トランシーバー前面（側面を含む）にあるボタンがロックされます。

上部 : ロータリースイッチとスキャン / 緊急ボタンがロックされます。

全て : PTT ボタンを含めた、上部、前面（側面を含む）の各ボタン、及びロータリースイッチがロックされます。

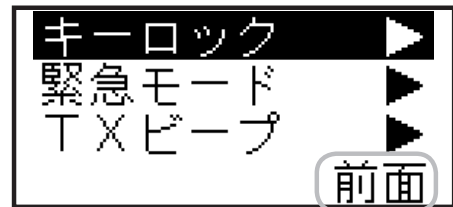
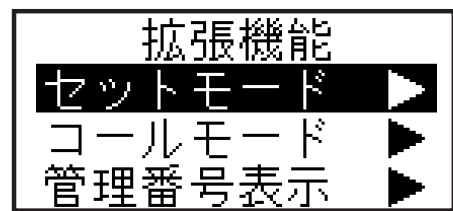
前面＋上部 : PTT ボタンを除く、上部、前面（側面を含む）の各ボタン及びロータリースイッチがロックされます。

PTT : PTT ボタンだけがロックされます。

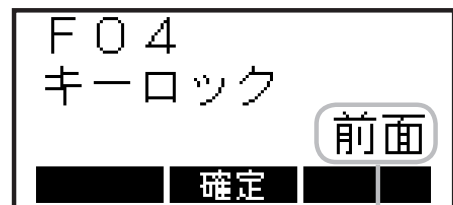
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。

補足

- バックライトボタン、キーロックボタン、緊急ボタンはロックされません。
- 本機を“受信専用機”として使用する場合は、送信操作を禁止するために“PTT”に設定してください。



現在の設定



設定

F05 緊急モード

緊急アラーム機能の動作を設定することができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“緊急モード” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の動作を選択します。

OFF : 緊急アラーム機能は動作しません。

S : サイレント状態で緊急信号を送信します。ディスプレイ表示とLEDは緊急動作中も変化しません。また、緊急動作中にPTTボタン（送信ボタン）を押すと、相手局と通話することができます。

補足

この設定は、個別通信時のみ動作します。

T : 自局のIDを含んだ緊急信号を送出します。また、緊急動作中にPTTボタン（送信ボタン）を押すと、相手局と通話することができます。

補足

この設定は、個別通信時のみ動作します。

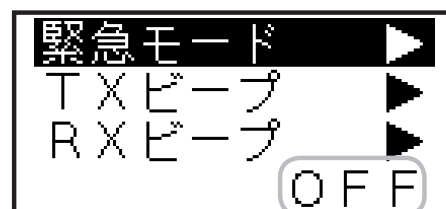
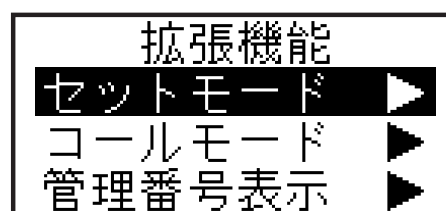
BP : トランシーバーのスピーカーから、緊急アラームを鳴らします。

BP+T : 上記“T”の動作を行った後、“BP”の動作を行います。

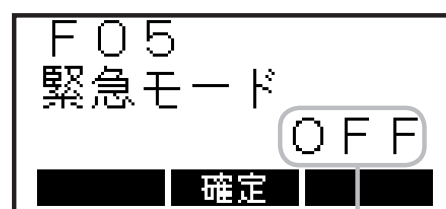
補足

この設定は、UC通信時に“BP”の動作を行います。

- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の動作

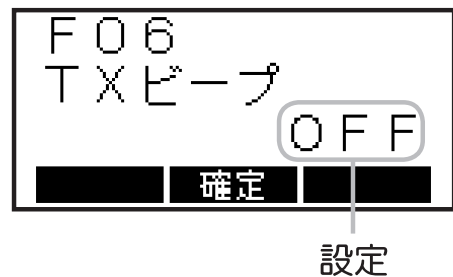


動作

F06 TX ビープ

送信開始時に、通話ができる状態になったことを知らせるビープ音を ON/OFF します。

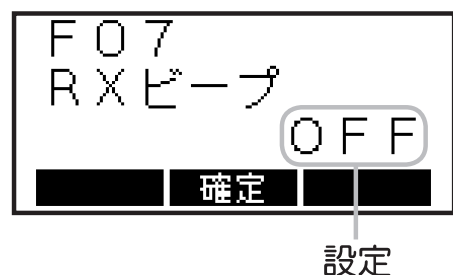
- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“TX ビープ” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、TX ビープの ON / OFF を選択します。
ON : TX ビープが動作し、通話ができる状態になるとビープ音が鳴ります。
OFF : TX ビープの動作が OFF になります。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



F07 RX ビープ

受信中の通話が終了したことを知らせるビープ音を、ON/OFF します。個別通信時または、“000” 以外の同じユーザーコードに設定してある相手局の信号を受信した時のみ動作します。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“RX ビープ” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、RX ビープの ON/OFF を選択します。
ON : RX ビープが動作し、通話ができる状態になるとビープ音が鳴ります。
OFF : RX ビープの動作が OFF になります。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



F08 ノイズキャンセル機能

周囲の騒音を軽減し、明瞭な音声を送信する「デジタルノイズキャンセル機能」をON/OFFします。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“ノイズキャンセル” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、ノイズキャンセル機能のON/OFF を選択します。

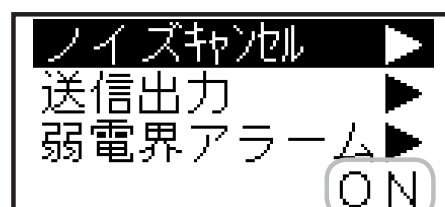
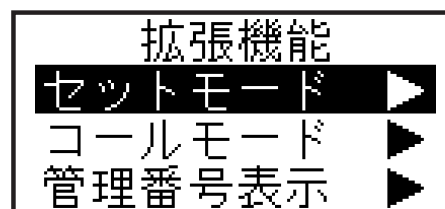
ON： デジタルノイズキャンセル機能が動作します。

OFF： デジタルノイズキャンセル機能が OFF になります。

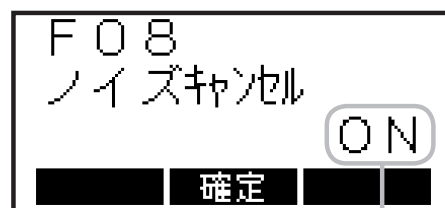
補足

デジタルノイズキャンセル機能を“ON”にする際は、“F02 外部マイク” および“F03 内部マイク” の設定を“0dB”以下にしてください。

- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F09 送信出力

送信出力（発射する電波の強さ）を“High”（5W）と“Low”（1W）から選択することができます。距離の近い相手と交信するときは、送信出力を“Low”に、また、本機を受信専用機として使用する場合は“受信専用”に設定してください。

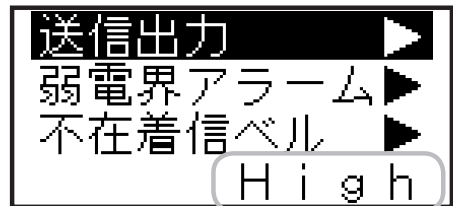
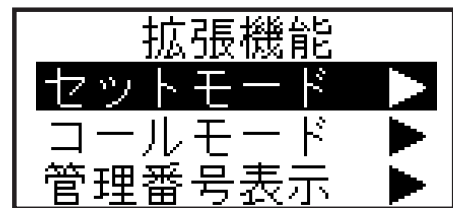
- ① 一度電源を切り、“選択”ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択”ボタンを放します。
- ② “セットモード”が選択されていることを確認し、“選択”ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“送信出力”の表示にあわせ、“選択”ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の設定を選択します。

High : 送信出力が 5W に設定されます。

Low : 送信出力が 1W に設定されます。

受信専用 : PTT ボタン（送信ボタン）を押しても、送信しなくなります。

- ⑤ “選択”ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F10 弱電界アラーム

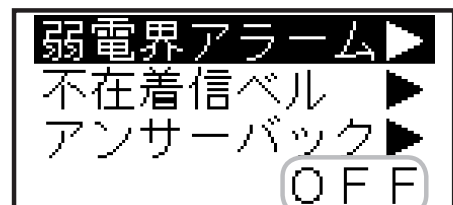
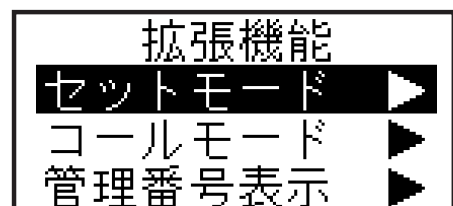
受信している信号が、極端に弱くなったことを知らせるアラーム音を、ON/OFF します。

- ① 一度電源を切り、“選択”ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択”ボタンを放します。
- ② “セットモード”が選択されていることを確認し、“選択”ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“弱電界アラーム”の表示にあわせ、“選択”ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、弱電界アラームの ON/OFF を選択します。

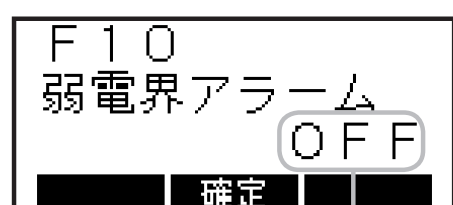
ON : 受信信号が極端に弱くなると、アラーム音が鳴ります。

OFF : 弱電界アラームの動作が OFF になります。

- ⑤ “選択”ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F11 不在着信ベル ～個別通信で使用する機能です～

相手からの個別呼び出しを受けた後、応答しなかった場合、設定した条件でベル（電子音）を鳴らすことができます。

なお、“グループ呼び出し”や“一斉呼び出し”での着信の場合は、ベルは鳴りません。

- ① 一度電源を切り、“選択”ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択”ボタンを放します。
- ② “セットモード”が選択されていることを確認し、“選択”ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“不在着信ベル”の表示にあわせ、“選択”ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の設定を選択します。

OFF : 不在着信ベルの動作が OFF になります。

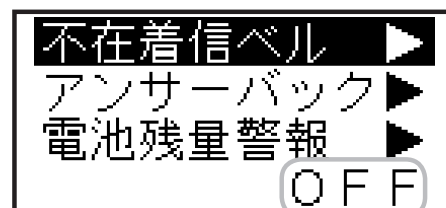
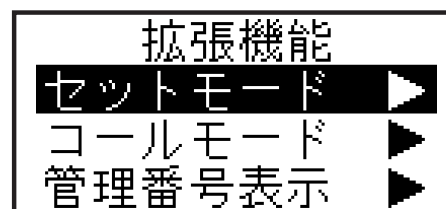
5 秒毎×2 : 着信後、5 秒間経過するとベルが鳴り、更に 5 秒間経過すると再度ベルが鳴ります。

2 秒毎 : 着信後 2 秒毎にベルが鳴ります。

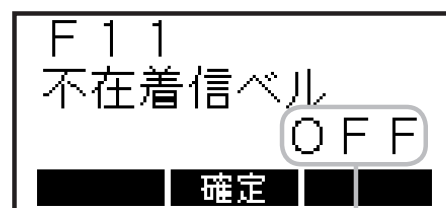
1 分毎 : 着信後 1 分毎にベルが鳴ります。

連続 : 着信するとベルが鳴り続けます。

- ⑤ “選択”ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定

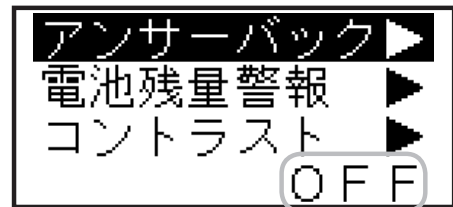
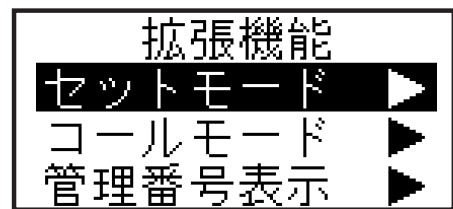


設定

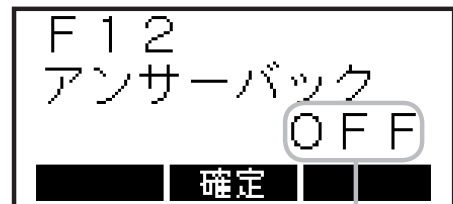
F12 アンサーバック ～個別通信で使用する機能です～

アンサーバック機能を、ON/OFF することができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“アンサーバック” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、アンサーバックの ON/OFF を選択します。
ON : アンサーバック機能を使用できます。
OFF : アンサーバック機能が OFF になります。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定

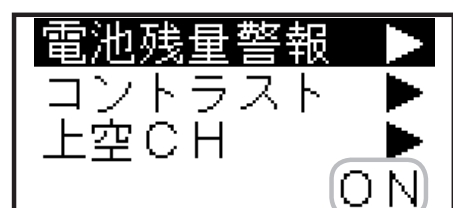
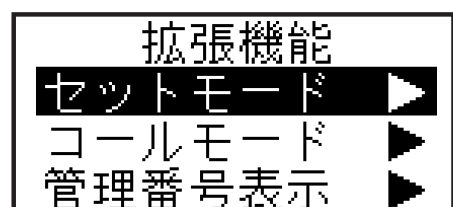


設定

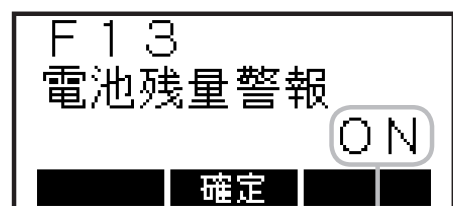
F13 電池残量警報

ビープ音により、バッテリーの残量が少なくなったことを知らせる機能を、ON/OFF することができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“電池残量警報” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、電池残量警報の ON/OFF を選択します。
ON : バッテリーの残量がなくなると警報音を鳴らします。
OFF : 電池残量警報機能が OFF になります。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

補足

- 警報音は約2分間隔でビープ音が鳴ります。
- 送信中は鳴りません。

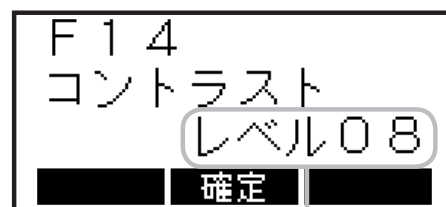
F14 コントラスト

ディスプレイのコントラストを調整することができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“コントラスト” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望のコントラストを選択します。
設定できるコントラストは“00” ～ “15” です。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F15 上空 CH

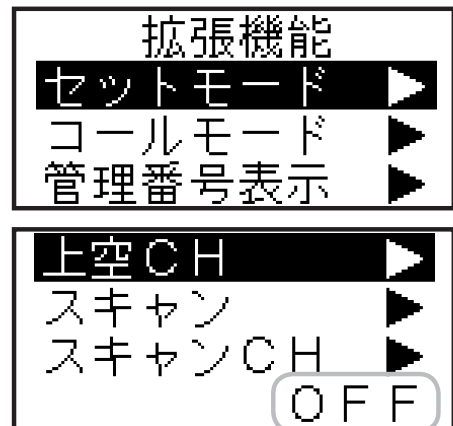
上空用チャンネルをモニターすることができます。なお、本機の上空用チャンネルは、モニターのみで送信することはできません。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“上空 CH” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の設定を選択します。

モニタ： 上空用チャンネルをモニターが可能で
す。

OFF： 上空用チャンネルモニターが OFF にな
ります。

- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F16 スキャン

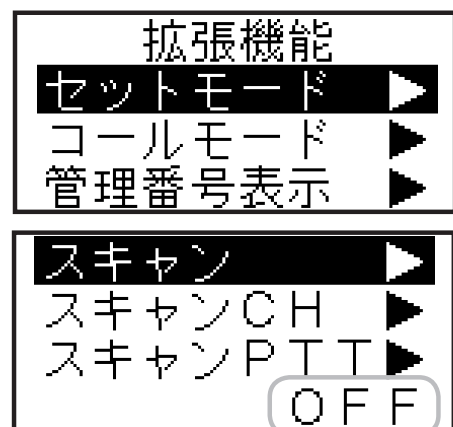
現在のチャンネルと設定したチャンネルを交互に受信し、信号が入感したチャンネルを自動的に受信することができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“スキャン” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、スキャン機能の ON/OFF を選択します。

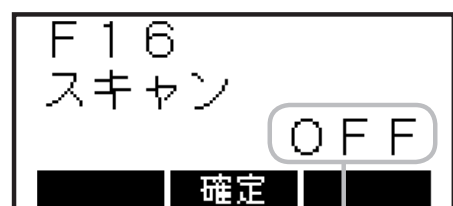
ON： スキャン機能が動作し、信号が入感したチャンネルを受信します。

OFF： スキャン機能が OFF になります。

- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定

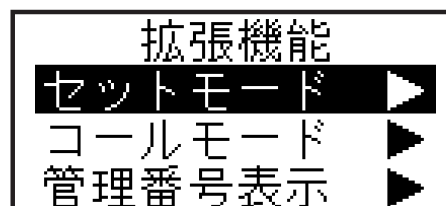


設定

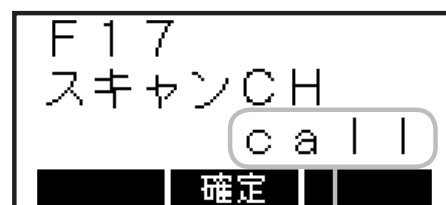
F17 スキャン CH

現在のチャンネル（通話チャンネル）と交互に受信したいチャンネル（スキャンチャンネル）を設定します。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“スキャン CH” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望のスキャンチャンネルを選択します。
設定できるチャンネルは“CH01”～“CH30”です。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定

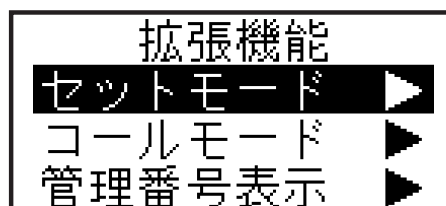


設定

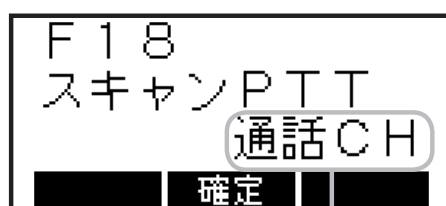
F18 スキャン PTT

スキャン機能動作時の PTT（通話）ボタン操作で送信状態になるチャンネルを設定することができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“スキャン PTT” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の動作を選択します。
通話 CH : 通話チャンネルで送信します。
スキャン CH : スキャンチャンネルで送信します。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定

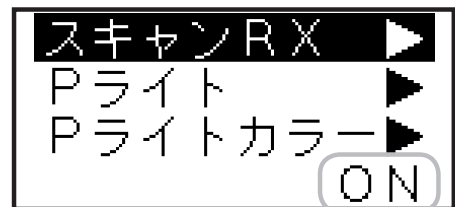
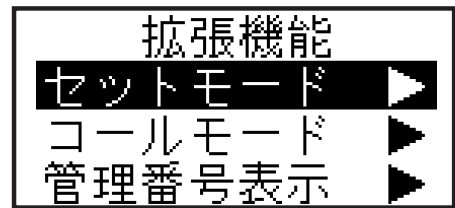


設定

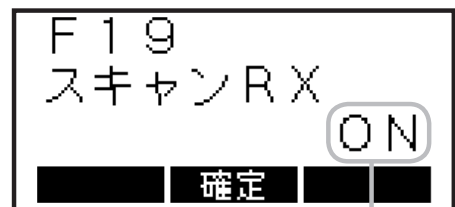
F19 スキャンRX

スキャン機能動作時に信号を受信した際、その後スキャンを再開させるかどうかを設定することができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“スキャンRX” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、スキャン機能再開の ON/OFF を選択します。
ON : スキャン機能が再開します。
OFF : スキャン機能は OFF になります。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定

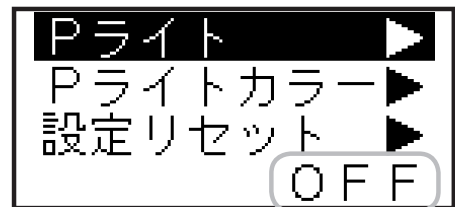
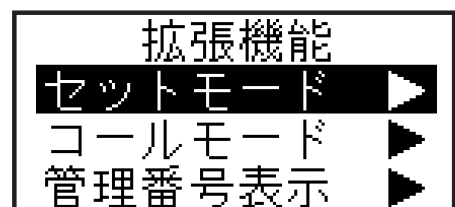


設定

F20 Pライト（ポジションライト）

ポジションライト機能動作時のLED インジケータの点灯条件を設定することができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“Pライト” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の動作を選択します。
常時点灯 : 設定された色で点灯します。
高速点滅 : 設定された色で点滅します。
低速点滅 : 設定された色で“高速点滅” より長い間隔で点滅します。
OFF : ポジションライト機能は OFF になります。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F21 P ライトカラー

ポジションライト機能動作時のLEDインジケーターの色を設定することができます。

- ① 一度電源を切り、“選択”ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択”ボタンを放します。
- ② “セットモード”が選択されていることを確認し、“選択”ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“P ライトカラー”の表示にあわせ、“選択”ボタンを押します。
- ④ ▲ / ▼ ボタンを押して、希望の色を選択します。

ALL : 14 種の色が順番に点灯します。

青 : 青色に点灯します。

緑 : 緑色に点灯します。

水色 : 水色に点灯します。

赤 : 赤色で点灯します。

紫 : 紫色で点灯します。

黄 : 黄色で点灯します。

白 : 白色で点灯します。

青（高輝度）：青色で高輝度点灯します。

緑（高輝度）：緑色で高輝度点灯します。

水色（高輝度）：水色で高輝度点灯します。

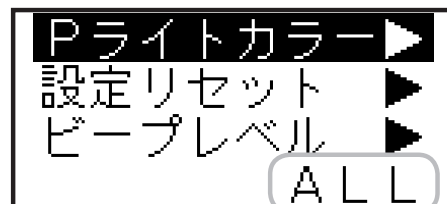
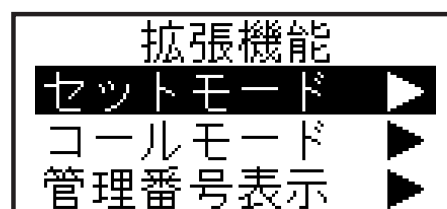
赤（高輝度）：赤色で高輝度点灯します。

紫（高輝度）：紫色で高輝度点灯します。

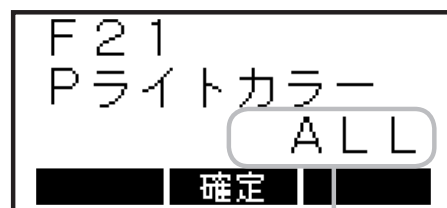
黄（高輝度）：黄色で高輝度点灯します。

白（高輝度）：白色で高輝度点灯します。

- ⑤ “選択”ボタンを押します。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定

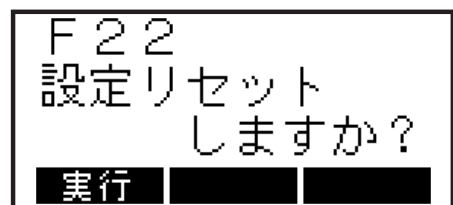
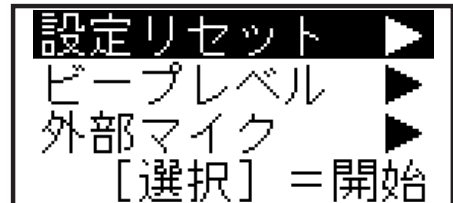
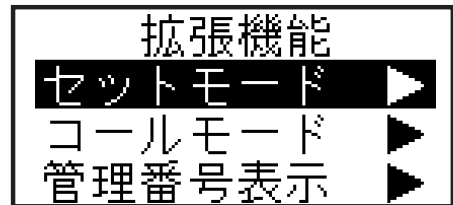


設定

F22 設定リセット

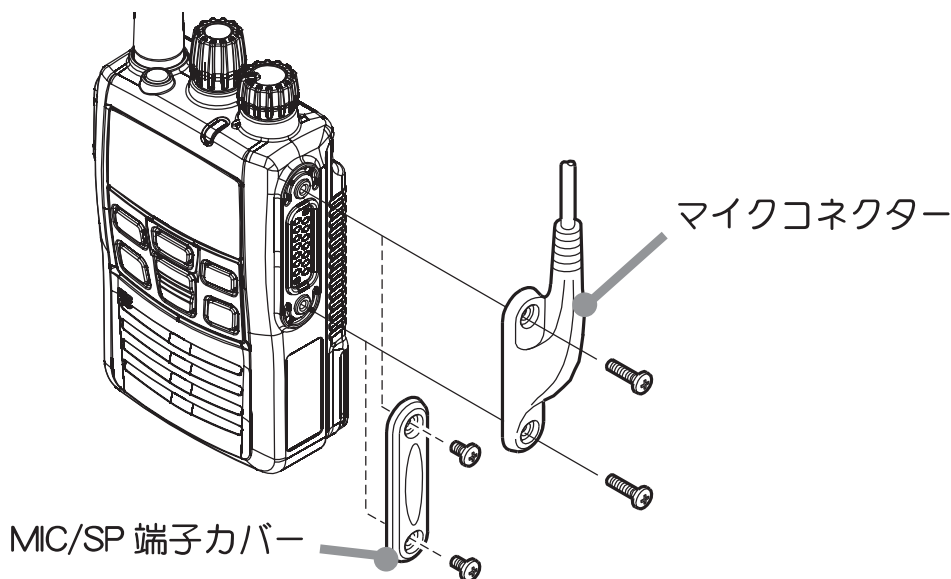
拡張機能の設定を、ご購入時の状態（工場出荷時の状態）に戻すことができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して、“設定リセット” の表示にあわせ、“選択” ボタンを押します。
- ④ “◀” ボタンを押すと、設定がリセットされます。リセットを中止する場合は、“戻る” ボタンを押してください。



オプションマイクの取り付け

MIC/SP 端子カバーのビスを外し、マイクコネクタに付属のビスで取り付けます。



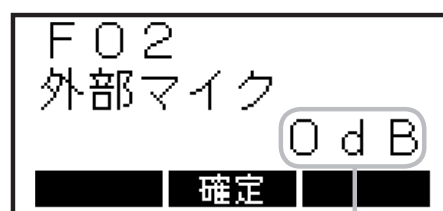
補足

- MIC/SP 端子を時々乾いた布や綿棒で拭いてください。端子が汚れていると、接触不良になって、正しく使用できなくなります。
- オプションを接続しないときは、MIC/SP 端子カバーを取り付けておいてください。

オプションマイクの感度切り替え方法

オプションマイクを使用した際、マイク感度を調節することができます。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。
- ② “セットモード” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
- ② ▲ / ▼ ボタンを押して、“外部マイク” を表示させて、“選択” ボタンを押します。
- ③ ▲ / ▼ ボタンを押して希望の感度を選びます。



マイク感度

マイクの感度は、下記の 8 段階から選択することができます。

(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” (標準) ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)

- ④ “選択” ボタンを押します。
- ⑤ 電源を切ると設定は終了です。

故障かな？と思う前に

間違った操作をしていませんか？ 修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。

◎ 電源が入らない！

- ・ リチウムイオン電池パックが消耗していませんか？
リチウムイオン電池パックを充電してください。
- ・ リチウムイオン電池パックの端子が接触不良になっていませんか？
▶▶▶ 端子を乾いた布で拭いてください。
- ・ リチウムイオン電池パックが古くなっていますか？
▶▶▶ リチウムイオン電池パックの寿命です。
新しいリチウムイオン電池パックとお取り替えください。

◎ 送信できない！

- ・ PTT（通話）ボタンを正しく押していますか？
- ・ 送信出力の設定が“受信専用”になっていませんか？
- ・ 上空用チャンネルになっていませんか？
▶▶▶ “CH S1 上空”～“CH S5 上空”チャンネルは、モニターのみで送信することはできません。

◎ 通話できない！

- ・ 相手局と同じチャンネルに設定していますか？
- ・ 相手局との距離が離れすぎていませんか？
- ・ 相手局と同じ通信方式に設定していますか？
- ・ 相手局と同じユーザーコードに設定していますか？
- ・ 秘話通信機能が動作していませんか？
▶▶▶ お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと、交信することはできません。

オプション

◎ 薄型リチウムイオン電池パック：	FNB-101LI
◎ 標準型リチウムイオン電池パック（構成品と同等）：	FNB-102LI
◎ チャージャースタンド（構成品と同等）：	CD-41
◎ AC アダプター（構成品と同等）：	PA-48A
◎ アンテナ（構成品と同等）：	ATU-12J
◎ 防水型スピーカーマイク：	MH-66A7A
◎ コンパクトスピーカーマイク：	MH-82A7A
◎ スピーカーマイク：	MH-83A7A
◎ タイピンマイク&イヤホン：	EK-505W
◎ 小型タイピンマイク&イヤホン：	EK-313-581
◎ 咽喉マイク&イヤホン：	EM-01-581
◎ 小型スピーカーマイク：	EK-404-581
◎ イヤホンアダプター：	EA-581
◎ EA-581 用イヤホン：	ME101/100CM

詳細等はカタログ及び八重洲無線株式会社のホームページ <http://www.yaesu.com/jp/> を参照してください。

定 格

一般

送 受 信 周 波 数	デジタリ簡易無線登録局 (6.25kHz 間隔、30 波) 351.20000MHz ~ 351.38125MHz 上空用チャンネル (6.25kHz 間隔、5波) 351.16875MHz ~ 351.19375MHz (モニターのみ可)
電 波 型 式	式: F1E / F1D
通 信 方 式	式: 単信 (プレストーク) 方式
電 池 持 続 時 間	式: FNB-102LI (構成) 約 10 時間 FNB-101LI (オプション) 約 6 時間 (送信出力 5W 時、送信 5、受信 5、待ち受け 90 の繰返し)
電 源 電 圧	圧: DC 7.4V $\pm$ 10%
消 費 電 流	流: DC 7.4V 送信時 (出力 5W 時) 約 1.8A 送信時 (出力 1W 時) 約 0.9A 受信待ち受け時 約 70mA 受信定格出力時 約 350mA
温 湿 度 範 囲	囲: 温度 - 20°C ~ + 60°C 湿度 95% (35°C)
本 体 寸 法	法: 60mm $\times$ 97mm $\times$ 30mm (FNB-102LI 使用時)
本 体 重 量	量: 約 260g (FNB-102LI を含む)

送信部

空 中 線 電 力	力: 5W/1W (+ 20%、- 50% 以内)
空 中 線 インピーダンス	ス: 50 Ω 不平衡
発 振 方 式	式: 水晶発振制御による周波数シンセサイザ方式
周 波 数 許 容 偏 差	差: $\pm$ 1.5ppm 以内
変 調 方 式	式: 4 値 FSK
占 有 周 波 数 帯 域 幅	幅: 5.8kHz 以下
最 大 周 波 数 偏 移	移: $\pm$ 1324Hz 以内
隣 接 チャンネル 漏 洩 電 力	力: - 52dB 以下 (5W 時)
ス プ リ ア ス 発 射	射: 2.5 μ W 以下 (5W 時)
不 要 輻 射	射: 2.5 μ W 以下 (5W 時)
標 準 変 調 入 力	力: - 44dBm $\pm$ 5dB
変 調 入 力 インピーダンス	ス: 600 Ω

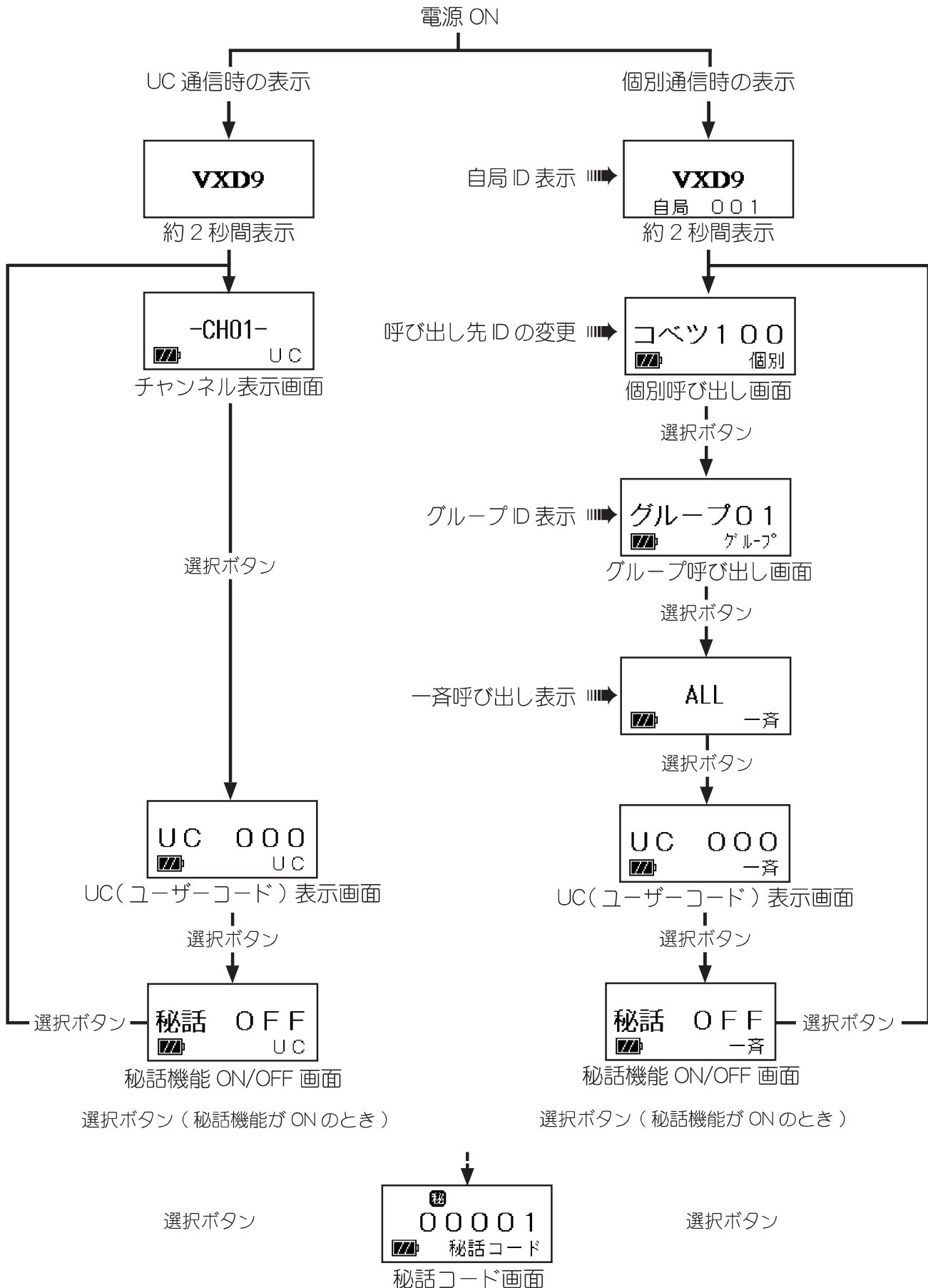
受信部

受 信 方 式	式: ダブルコンバージョンスーパーヘテロダイン方式
中 間 周 波 数	数: 第一 50.85MHz 第二 2.304MHz
局 部 発 振 周 波 数	数: 第一 受信周波数 - 50.85MHz 第二 48.546MHz
局 発 周 波 数 変 動	動: $\pm$ 1.5ppm 以内
受 信 感 度	度: - 2dB μ V (BER=1%)
ス プ リ ア ス レ ス ポ ン ス	ス: 53dB 以上 (BER=1%)
隣 接 チャンネル 選 択 度	度: 6.25kHz 42dB 以上 (BER=1%)
相 互 変 調 特 性	性: 53dB 以上 (BER=1%)
低 周 波 出 力	力: INT: 0.5W 以上 (10% 歪時) EXT: 0.7W 以上 (10% 歪時)
低 周 波 出 力 インピーダンス	ス: INT: 8 Ω EXT: 16 Ω
副次的に発する電波等の強度	度: 4nW 以下

※ RoHS 指令準拠

付 録

“選択” ボタンを押したときの動作と表示



チャンネル構成と通信方式

UC(ユーザーコード)、個別 ID、グループ ID を記入してお使いください。

チャンネル	UC 通信	個別通信
	UC (ユーザーコード) (全チャンネル / チャンネルごと)	個別 ID・グループ ID (全チャンネル共通)
- CH01 -		
- CH02 -		
- CH03 -		
- CH04 -		
- CH05 -		
- CH06 -		
- CH07 -		
- CH08 -		
- CH09 -		
- CH10 -		
- CH11 -		
- CH12 -		
- CH13 -		
- CH14 -		
Call - CH15 -	ALL (各種の設定を行うことはできません)	
- CH16 -		
- CH17 -		
- CH18 -		
- CH19 -		
- CH20 -		
- CH21 -		
- CH22 -		
- CH23 -		
- CH24 -		
- CH25 -		
- CH26 -		
- CH27 -		
- CH28 -		
- CH29 -		
- CH30 -		
CH S1 上空	モニターのみ (送信できません)	
CH S2 上空		
CH S3 上空		
CH S4 上空		
CH S5 上空		

$$\times \varepsilon$$

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings present.

× ㄷ

[illegible]

索引

記号

▲ / ▼ ボタン	9
◀ / ▶ ボタン	9
On ボタン	9, 33, 34

欧字

A

AC アダプター	2, 14, 15
ARIB 種別コード	1, 16

L

LED インジケーター	9, 30, 34
-------------	-----------

M

MIC/SP 端子	9
-----------	---

P

PTT ボタン	9
P ライト	62
P ライトカラー	63
P ライトボタン	9, 34

R

RX ビープ	54
--------	----

T

TX ビープ	54
--------	----

U

UC の設定	22
UC モード	42
UC 通信	16, 17, 42
UC 通信の設定手順	18
UC ベル	43

かな

あ

アフターサービス	1
アンサーバック	37, 58
安全上のご注意	3
アンテナ	2
アンテナコネクター	8
アンテナの取り付け	10

い

一斉呼び出し	23, 29
--------	--------

お

オプション	66
-------	----

オプションマイク	65
音量調節ツマミ	8

か

外部マイク	50, 65
各種の便利な機能	31
各部の名前と機能	8
簡易リスト	35

き

キーロック	52
キーロックボタン	9
機能ボタン	9, 35, 37
キャリアセンス機能	30
緊急宛先	46
緊急アラーム機能	31
緊急応答宛先	47
緊急個別 ID	47
緊急ボタン	8
緊急モード	53

く

グループ ID	44
グループベル	45
グループ呼び出し	29

こ

構成品	2
コールチャンネル	16
コールモード	41
故障かな?と思う前に	66
個別通信	23, 42
個別通信の設定手順	24
個別ベル	45
個別呼び出し	29
ご利用にあたって	1
コントラスト	59

し

自局 ID	44
自局情報	36
弱電界アラーム	56
上空 CH	60
充電方法	15

す

スキャン	8, 31, 60
------	-----------

スキャン CH	61
スキャン PTT	61
スキャン RX	62
スピーカー	9

せ

設定リセット	64
セットモード	49
全員を一斉に呼び出す	23
選択ボタン	9, 68

そ

送受信メニュー	37
送信出力	56

た

卓上充電器セット	2, 14
----------	-------

ち

着信ベル	30
着信履歴	38
チャージャースタンド	2, 14, 15
チャンネル構成	16, 69

つ

通信の機能設定	41
通信方式	16, 42
通信方法	19
通話ボタン	9

て

定格	67
ディスプレイ	9, 10
ディスプレイ照明機能	33
デジタル簡易無線局	16
デジタルノイズ	
キャンセル機能	55
電源スイッチ	8
電池残量警報	58
電池の消耗	12
電波干渉	2

と

登録局	16
特定の相手だけを呼び出す	23
特定のグループを呼び出す	23
トランシーバーの詳細設定	49

な	
内部マイク	51

の	
ノイズキャンセル機能	55

は	
はじめに.....	1
バックライトボタン.....	9, 33
発信履歴	38
ハンドストラップ	2, 11

ひ	
ビビピ音	30
ビープ音による	
チャンネル確認	34
ビープレベル	50
秘話通信機能	32
秘話モード	48

ふ	
不在着信ベル	57
付録	68

へ	
ベルトクリップ	2, 11

ほ	
防水性	2
保護板	2, 11
ポジションライト	62
ポジションライト機能	34
ボタンロック機能	34

ま	
マイク	9
マイク感度	50, 51, 65

む	
無線局登録申請	1, 2
無線局登録申請 の手引き	1, 2

め	
メッセージ確認	40
メッセージ送信	39
免責事項	1

も	
戻るボタン	9

ゆ	
ユーザーコード通信	16, 17

よ	
呼び出し方法	25
呼び出しを受けたとき	29

り	
リチウムイオン電池	
持続時間	12
リチウムイオン電池/パック	2, 13
リチウムイオン電池/パック	
の取り付け ...	12
リチウムイオン電池/パック	
の取り外し ...	12
リチウムイオン電池/パック	
のリサイクル	13
リピート再生	35
リセット	64

ろ	
ロータリースイッチ	8
録音機能	33
録音ボタン	9, 33
録音メモ	36

株式会社エクセリ
東京都中央区日本橋浜町2-30-1 / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5
URL:<https://www.exseli.com/>



正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入
いただいた販売店または、下記までご相談ください。

取扱説明書の記載内容を予告無く変更する場合があります。
詳しくは下記の URL をご覧ください。

販売：八重洲無線株式会社 国内営業部

〒 140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8

天王洲パークサイドビル

電話：03-6711-4055

URL：<http://www.yaesu.com/jp/>

製造：バーテックススタンダード LMR 合同会社



© 2013 バーテックススタンダード LMR 合同会社
無断転載・複写を禁ず

中国印刷